

進路指導部通信

県立高等特別支援学校
進路指導部
2018. 1. 19 NO. 9

「あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。」

平成30年1月9日、3学期が始まりました。始業式のこの日、久しぶりに職員室に入ってくる生徒の皆さんは、新年初めて会う先生達に自分から新年のご挨拶ができたでしょうか。日番のカゴを取りに来た時、宿題を提出しに来た時、用件を述べるだけでなくほんの一言を添えるだけで、人に与える印象がグンと良くなります。また、自分から挨拶すると清々しい気持ちになります。良好なコミュニケーションはこのような小さなことの積み重ねなのだと思います。自分から挨拶することを意識して今年も過ごして欲しいと思います。



さて、文化祭が目前に迫ってきました。どの学年も練習に熱が入っています。文化祭も体育大会と同じように、本番だけでなく準備や片づけ、練習や係活動等でどれだけ主体的に取り組んでいるか、そこに意識の差が出てきます。さらに顕著に表れるのが、教師の目が届きにくい舞台袖での過ごし方です。自分の出番ではない時、皆さんはどんな気持ちで舞台袖にいますか？舞台袖でも意識や集中力を持続できていますか？舞台も仕事と一緒にです。周りの人と協力していい作品を作っていくのです。舞台裏でも必要な仕事は沢山あるはず。道具を出す、道具を片付ける、幕の開け閉めをする、背景画を取り替える等、学年の演出によって必要となる裏方の仕事は異なるでしょう

が、誰かがきつと仕事をしています。時には邪魔にならないように見守り、必要な時にはさっと手伝えるように、常に気持ちはスタンバイの状態であることが大切です。文化祭では舞台以外にも活躍の場が沢山あります。自分の持ち場でしっかり自分の力を発揮し、仲間と協力し、主体的に文化祭を盛り上げていけるように頑張ってください。こういった取り組みも働く力を高めることにつながっていくのだと思います。



内定実習 2月5日(月)～2月16日(金)

文化祭が終わると、3年生は2月5日(月)～2月16日(金)まで内定実習に行きます。内定をいただいている会社で実践的な実習に臨み、入社後スムーズに働けることを目的としています。この期間に企業の都合で内定実習が行われない場合、例年は校内のワックスがけなど清掃作業を体験していましたが、今年度は地元の事業所等へ現場実習に行くことになりました。「就職＝ゴール」ではありません。その後の人生の方がはるかに長いのです。働き続けられるようにスキルアップしてください。

就職が決まるまで就職活動は続いています

内定実習の時期に結合実習に臨む生徒もいます。もうすぐ卒業の時期なのにまだ就職が決まっていなくて不安になる気持ちはすごく分かります。しかし、卒業がタイムリミットではありません。進路の進み方は人それぞれです。もう少し力をつけるために訓練校や移行支援事業所を選ぶ人もいます。面接や実習の出来映えには問題が無くても、他の要因で就職活動がなかなか実らない生徒もいます。就職活動には人それぞれにいろんなドラマがあります。

昨年度卒業した21期生の中にも卒業時に就職が決まっていなかった生徒がいました。そのうちの一人Yさんは、10月の進路セミナーでその体験を語ってくれました。Yさんは卒業式後の合同面接会で結合実習のチャンスを掴み、3～4月に結合実習に行き、5月に就職しました。同じく卒業時に就職が決まっていなかったH君は、卒業後は家の用事を手伝いながらハローワークや支援センターへ足を運んで就職活動に励み、その間に運転免許を取得して通勤できる範囲を広げました。そして、6月ハローワークの紹介で結合実習に臨み、7月に就職しました。YさんとH君が偉かったのは、就職が決まるまでの数ヶ月、悲観的にも絶望的にもならず、今できることをして過ごしていたことです。その結果よい仕事に巡りあい、充実した毎日を送っています。

周りが次々と決まっていく中、決まっていけないというのは不安なもので、焦る気持ちも分かります。焦って自分に合っていない企業に就職しても、すぐに辞めてしまっても意味がありません。『急がば回れ』ということわざもあります。うまくいかない時こそ、できることをやっていって欲しいと思います。